



Infor LN 調達 発注先段階的支払 ユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	procsspug (U9819)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017年12月21日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
第2章 設定.....	9
マスタデータ.....	9
第3章 手順.....	11
手順.....	11
第4章 ペグ.....	13
段階的支払ラインのペギング.....	13
第5章 更新.....	15
購買オーダーラインの段階的支払ラインの更新.....	15
第6章 訂正.....	17
段階的支払ラインの訂正.....	17
第7章 表示.....	19
段階的支払の概要と発行ワークベンチ.....	19
付録A 用語集.....	21

索引

文書情報

この文書では、見積依頼 (RFQ) および購買オーダーで発注先段階的支払を設定して使用する手順を説明します。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、調達に関する業務プロセスへの理解、および Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	発注先段階的支払の概要
第 2 章	設定	発注先段階的支払のマスタデータ
第 3 章	手順	発注先段階的支払手順のステップ
第 4 章	ペグ	発注先段階的支払のプロジェクトペギング
第 5 章	更新	発注先段階的支払の更新
第 6 章	訂正	発注先段階的支払の訂正
第 7 章	表示	発注先段階的支払の概要と発行ワークベンチ

参照

このガイドは、発注先段階的支払の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 見積依頼 (RFQ) ユーザガイド U9821 JA
見積依頼手順を理解するために使用します。
- 購買オーダーユーザガイド U9824 JA
購買オーダー手順を理解するために使用します。
- プロジェクトペギングユーザガイド U9777 JA
プロジェクトペギング機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックを集めてまとめたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

段階的支払によって、顧客は購買オーダーでオーダーした商品が実際に入庫する前でも後でも、発注先に支払うことが可能になります。支払は一定期間にわたって行い、その総額を特定の日付に発注先に支払う必要があります。購買オーダー品目の請求フローは、その商品フローからは切り離されています。

発注先段階的支払は、長い納期、高価値、多くの設計、および固定価格といった特徴を持つ品目の場合に有用です。発注先が商品の入庫前に特定のタスクを完了する必要があるような場合に（たとえば設計文書やテスト結果の提供など）、その日付およびイベントを段階的支払に含めることができます。

例

段階的支払ライン	記述	期日	金額
1	最終設計の納入	1月1日	300k
2	最終テスト結果の 納入	7月31日	400k
3	入庫と検査	12月31日	300k

注意

発注先段階的支払を次の項目と組み合わせて使用することはできません。

- [購買スケジュール](#)
- [購買返品オーダー](#)
- [委託補充オーダーおよび委託支払オーダー](#)
- [自己請求購買オーダーライン](#)
- [追加コストライン](#)
- [顧客支給資材](#)
- [予算管理](#)
- [入庫後の価格および値引の変更](#)

マスターデータ

発注先段階的支払を使用するには、導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) 詳細セッションで [発注先段階的支払] チェックボックスをオンにします。

オプションで、次のマスターデータを指定し、デフォルト設定として使用できます。

1. 品目 - 購買 (tdipu0101m000) セッションで、品目の [段階的支払による請求] チェックボックスをオンにします。
2. 分割払スケジュール (tcmcs2640m000) セッションで発注先段階的支払スケジュールを指定し、これを使用して段階的支払ラインのセットを見積依頼回答ラインおよび購買オーダーラインに簡単にコピーすることができます。
3. 品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションで、品目と購買取引先の組合せについて [段階的支払による請求] チェックボックスをオンにします。
4. 見積依頼回答 (tdpur1506m000) または購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションで品目と購買取引先の組合せに関するレコードを保存するときに、自動的に段階的支払ラインが生成されるようにする場合は、品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [段階的支払スケジュールセット] フィールドでデフォルトの段階的支払スケジュールを指定します。

手順

ステップ 1: 段階的支払ラインの作成

見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションまたは購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの [段階的支払による請求] チェックボックスがオンの場合、適切なメニューの [発注先段階的支払] をクリックして、発注先段階的支払 (tdpur5120m000) セッションで見積依頼回答または購買オーダーラインに段階的支払ラインを指定できます。段階的支払ラインはマニュアルで作成することも、段階的支払スケジュールからコピーすることもできます。

段階的支払ラインの合計金額が、見積依頼回答または購買オーダーラインの正味オーダーライン金額と等しい場合にのみ、見積依頼回答の状況を [受入済] にすること、または購買オーダーラインを [承認] することができます。見積依頼回答または購買オーダーラインで正味オーダーライン金額が変更され、リンクされている段階的支払ラインに [割合] が含まれている場合は、率および新規金額を基準にして、段階的支払ラインの金額が自動的に更新されます。段階的支払ラインに率ではなく金額が指定されている場合は、段階的支払ラインの金額をマニュアルで更新する必要があります。

見積依頼の変換 (tdpur1202m000) セッションで見積依頼回答を購買オーダーに変換すると、見積依頼回答からの発注先段階的支払が購買オーダーラインにコピーされます。変換中に [購買元取引先間で数量を分割] チェックボックスをオンにすると、正味オーダーライン金額が見積依頼回答と購買オーダーラインとで異なることがあります。見積依頼回答の段階的支払ラインに率が含まれている場合、購買オーダーラインの率に基づいて金額が再計算されます。見積依頼回答の段階的支払ラインで率が指定されていない場合は、生成される購買オーダーラインの段階的支払ラインの金額をマニュアルで更新します。

見積依頼回答について作成される段階的支払ラインの状況は、[適用なし] です。購買オーダーラインの場合、作成される段階的支払ラインの状況は [計画済] です。このフェーズでは、段階的支払ラインおよび親オブジェクトを引き続き更新、取消、または削除することができます。

ステップ 2: 段階的支払ラインの発行

段階的支払ラインを支払うには、発行予定段階的支払ライン (tdpur5520m100) セッションでこのラインを買掛金に発行します。発行済段階的支払ラインの状況は [発行済] です。

段階的支払は、商品の入庫の前にも後にも発行できます。入庫と段階的支払発行との間にはリンクがありません。

買掛金で [発行済] の段階的支払ラインがまだ一致していないか承認されていない間は、段階的支払ラインの発行を取り消すことができます。

ステップ 3: 段階的支払ラインの請求

発行後、購買請求書入力 (tfacp2600m000) セッションで、段階的支払ラインが一致して承認されるようにする必要があります。段階的支払ラインの請求が承認されると、このラインの状況は [請求済] になり、[請求額] が指定されます。

請求が一致して承認されると、買掛金から段階的支払ラインが更新されます。

一致請求書は段階的支払別照合済請求書 (tfacp2543m300) セッションで表示できます。

ステップ 4: 段階的支払ラインの処理

納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションで購買オーダーラインが処理されると、リンクされている請求済の段階的支払ラインの状況は [処理済] となります。

処理済の段階的支払ラインの履歴レコードは、発注先段階的支払履歴 (tdpur5570m000) セッションに書き込まれます。

ステップ 5: 段階的支払ラインの削除

購買オーダーラインおよびその詳細、バックオーダー、および段階的支払ラインがすべて処理されると、このラインは購買オーダーのアーカイブおよび削除 (tdpur4224m000) セッションで削除することができます。

見積依頼の削除 (tdpur1205m000) セッションで見積依頼回答を削除すると、リンクされている段階的支払ラインも削除されます。

注意

購買オーダーラインの場合は、段階的支払ラインによって会計取引が書き込まれ、反転されます。

段階的支払ラインのペギング

段階的支払によって請求する必要がある品目でペグが必要な場合、段階的支払ラインが承認されると、購買ペグ配分 (tdpur5100m000) セッションでペグ配分が [段階的支払ライン] にリンクされます。特定の購買オーダーラインおよび段階的支払ラインの場合、段階的支払ラインの [金額] は、プロジェクト/予算、プロジェクト要素、プロジェクト活動の組合せの配分ラインに配分されます。購買ペグ配分 (tdpur5100m000) セッションのペグ情報には、配分におけるペグのライン番号、ペグ (プロジェクト、要素、活動)、およびペグによる段階的支払金額が含まれています。

購買オーダーラインの段階的支払ラインの更新

購買オーダーラインが承認されており、リンクされている発注先段階的支払の [記述]、[金額]、または [期日] フィールドを変更した場合:

1. 購買オーダーの [状況] が [修正済] に変更されます。ただし、入庫手順の購買オーダーが離れすぎている場合、購買オーダーの状況は変化しません。
2. 購買オーダーライン状況 (tdpur4534m000) セッションで購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) 活動の状況が [変更] になります。これは、購買オーダーが変更済であり、再出力可能であることを示します。購買オーダーライン状況 (tdpur4534m000) セッションは、購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの 適切なメニュー にある [購買オーダーライン状況] をクリックして開始できます。

注意

購買オーダーの出力 (tdpur4401m000) セッションの購買オーダーを再出力するには、事前に [修正済] 購買オーダーを承認する必要があります。

段階的支払ラインの訂正

請求額を貸方に記入するには、発注先段階的支払 (tdpur5120m000) セッションで段階的支払ラインをマイナスの金額で追加します。訂正段階的支払ラインを指定した場合、段階的支払ラインの合計金額が正味オーダーライン金額と等しい必要はありません。訂正段階的支払ラインも発行、請求、および処理する必要があります。

訂正段階的支払ラインは、次のような状況で指定できます。

- オーダーラインについて在庫が実行され、非承認ができなくなっている
- 購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションで購買オーダーラインについて [取消の処理中] が選択されている

段階的支払の概要と発行ワークベンチ

発注先段階的支払概要 (tdpur5520m000) セクションを使用して、発注先段階的支払の概要を表示できます。

発注先段階的支払発行ワークベンチ (tdpur5520m200) セクションを使用すると、購買オーダーラインの発注先段階的支払ラインを表示および操作できます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

顧客支給資材

同じ顧客用の完成品の製造で材料として使用される、顧客によって供給される品目

予算管理

予算管理は、予算が関連付けられている商取引の追跡と管理を行う統合情報システムです。予算が約定引当され実現される時に、予算の財源および使用状況を記録することで、継続的に財務の健全性が監視されます。

発注先段階的支払

顧客から発注先に一定期間にわたって行われる分割払。段階的支払を使用すると、顧客は、品目を実際に受け取る前または受け取った後に品目について支払を行うことができます。品目の請求フローは、その商品フローから分離されます。

略字: SSP

ペグ

プロジェクトと予算、要素と活動の組合せ。プロジェクトの原価、需要、供給の識別に使用されます。

SSP

次を参照してください: 発注先段階的支払 (ページ 21)

発注先段階的支払スケジュール

発注先段階的支払デフォルトを持つスケジュールセット。購買オーダーラインまたは見積依頼回答の段階的支払ラインを生成するために使用されます。

必要なスケジュール番号を指定した後、いくつかの段階的支払ラインについてデフォルトを指定できます。オーダー日と請求日との間のタイムフェンス、および合計正味額の割合は、段階的支払ラインで指定されます。

追加コストライン

追加コストとしてオーダまたは出荷にリンクできる原価品目を含みます。追加コストラインの例として、オーダ金額が一定の値より少ない場合にオーダ原価に追加される管理費や、販売/購買商品の総重量が一定の値を超える場合にオーダに追加される輸送費があります。

正味オーダライン額

取引通貨で示されるオーダラインの正味額。この金額は次の公式で計算されます。

金額 = (数量 × 価格) - オーダライン値引

自己請求

取引先間での合意により、商品の入庫または消費を基準にして行われる、請求書の定期的な作成、照合、および承認。販売先取引先は、購買元取引先からの請求書を待たずに、商品に対する支払を行います。

索引

適切なメニュー, 21
顧客支給資材, 21
予算管理, 21
発注先段階的支払, 21
ペグ, 21
SSP, 21
発注先段階的支払スケジュール, 21
追加コストライン, 22
正味オーダーライン額, 22
自己請求, 22
